

ひょうごらくのうメモ

1

2026JAN



表紙：『2026スタート！ヒッヒ〜ハ〜ッ』 穏やかな年でありますように。

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合
神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

年頭の挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当組合の事業に対し、多大なるご理解とご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

昨今、私たちを取り巻く環境はかつてない厳しさに直面しています。世界各地で記録的な熱波や豪雨、大規模な山林火災が常態化しており、地球温暖化に伴う異常気象はもはや一地域の課題ではなく、世界の食料生産を揺るがす深刻な事態となっています。

国際社会に目を向ければ、大国による自国保護主義的な振る舞いが加速し、地政学的なリスクが経済の不安定化に拍車をかけています。特に輸入飼料に依存せざるを得ない我が国の酪農経営にとって、為替相場の激しい変動はコストを直撃し、経営の根幹を脅かす大きな懸念材料となっております。

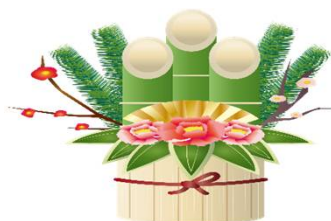
こうした中、昨秋発足した高市内閣が掲げる積極財政への転換は、日本経済の再生と内需拡大に向けた大きな一歩として期待を寄せております。機動的な財政出動により、円安是正やエネルギー・飼料価格の安定化、そして消費者の購買力向上につながる経済循環が生まれることを切に願うばかりです。

また、地元兵庫県におかれましては、全国に先駆けて粗飼料高騰対策支援などの継続的な経営支援を打ち出していただいております。行政の手厚い後押しに対し、この場を借りて深く感謝申し上げます。

牛乳・乳製品の消費減退や適正な価格形成の難しさなど、課題は山積しております。しかし、私たちは立ち止まるわけにはいきません。組合といたしましては、消費者の皆様へ「酪農の価値」を粘り強く伝え、理解醸成を図るとともに、組合員一人ひとりの経営安定に資する実効性のある施策を地道に積み重ねてまいる所存です。

本年が、皆様にとって困難を乗り越え、明るい未来へと飛躍する輝かしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年1月吉日



兵庫県酪農農業協同組合
代表理事組合長 吉川 稔英

生乳生産統計

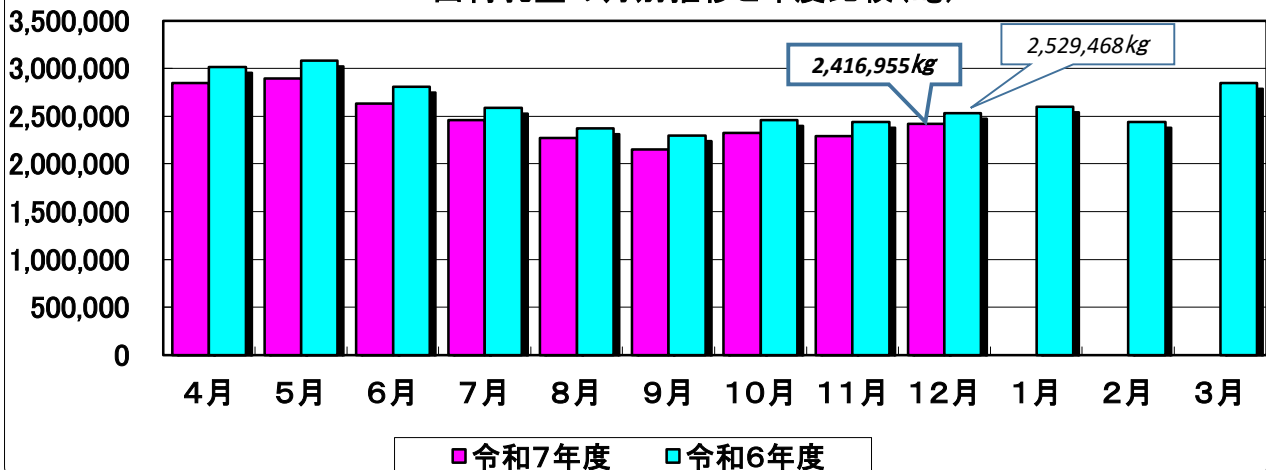
1. 全国(令和7年11月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	7年	4月	644.8	101.5
令和	7年	5月	663.4	101.2
令和	7年	6月	627.9	101.9
令和	7年	7月	613.8	101.2
令和	7年	8月	604.1	102.0
令和	7年	9月	580.4	100.2
令和	7年	10月	604.1	99.7
令和	7年	11月	586.2	99.5
令和	7年	12月		
令和	8年	1月		
令和	8年	2月		
令和	8年	3月		
令和	7年度	累計	4,924.8	100.9

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年 12月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	419,559	92.1	3,870,873	92.8	16
播州地区	263,740	79.1	2,621,913	87.7	12
丹但地区	236,498	104.4	2,097,305	98.3	12
淡路地区	1,497,158	98.9	13,691,212	96.4	62
合 計	2,416,955	95.6	22,281,303	94.4	102

出荷乳量の月別推移と年度比較(kg)



参考情報

淡路家畜市場情報

令和7年12月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	17	172,571	254,100	58,300			57		
		前回	13	163,646	216,700	80,300			62	8,925	5.5%
		前年	18	88,794	154,000	5,500			59	83,777	94.3%
	オス	今回	11	186,400	231,000	113,300			57		
		前回	18	190,483	255,200	132,000			60	-4,083	-2.1%
		前年	15	120,487	185,900	22,000			59	65,913	54.7%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	14,300	14,300	14,300			56		
		前回	1	33,000	33,000	33,000			50	-18,700	-56.7%
		前年	1	4,400	4,400	4,400			58	9,900	225.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和7年11月第4金曜日・前年は令和6年12月第2金曜日

令和7年12月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	14	190,379	222,200	134,200			58		
		前回	17	172,571	254,100	58,300			57	17,808	10.3%
		前年	16	88,550	155,100	12,100			56	101,829	115.0%
	オス	今回	24	212,117	255,200	56,100			56		
		前回	11	186,400	231,000	113,300			57	25,717	13.8%
		前年	13	82,246	173,800	7,700			56	129,871	157.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	4	41,800	51,700	31,900			49		
		前回	1	14,300	14,300	14,300			56	27,500	192.3%
		前年	4	2,750	4,400	1,100			55	39,050	1420.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和7年12月第2金曜日・前年は令和6年12月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし	46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	取引なし	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	16,303	6,355
	11	15,636	42	18,724	79	2,200	18,892	5,502
	12	17,064	39	16,637	97	7,071	22,413	5,374
7	1	16,067	33	20,782	84	取引なし	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	42,173	5,025
	3	29,838	40	30,755	74	16,500	68,621	5,487
	4	76,696	112	67,711	27	29,700	86,848	5,787
	5	62,984	31	67,442	38	32,175	104,366	4,564
	6	80,911	18	90,035	25	31,900	119,074	4,568
	7	78,232	25	125,788	34		83,086	5,711
	8	48,251	37	47,139	57	38,500	42,988	5,630
	9	46,536	72	35,468	49	2,200	41,130	6,108
	10	48,919	53	35,897	52	39,325	41,860	5,696
	11	49,350	44	38,740	51	30,388	51,451	5,001
	12	40,397	58	36,400	57	28,325	63,201	4,997

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	77,530	17,498
	11	85,004	467	90,266	382	144,203	88,472	14,687
	12	105,577	589	105,319	394	162,103	105,694	14,420
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	158,652	13,048
	3	176,271	565	171,449	295	215,955	194,356	12,757
	4	223,428	525	232,287	311	262,511	218,663	13,432
	5	261,174	453	254,719	361	294,911	238,092	11,864
	6	299,867	333	297,813	243	345,779	262,505	10,365
	7	301,814	430	297,328	352	374,034	241,430	12,627
	8	268,665	386	251,341	354	339,621	192,008	13,281
	9	214,669	702	232,794	426	318,175	180,789	15,501
	10	163,732	616	166,400	470	251,849	169,106	16,309
	11	160,287	597	170,979	358	229,957	161,995	15,533
	12	169,100	769	179,724	467	251,065	159,603	17,455

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和7年12月乳牛市場成績

頭：千円：税込													
市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
北 見	12/5	428	447	20	228	3	440	333	389				
十 勝	12/8・9					947	1,340	189	732	126	989	132	556
十 勝	12/11	670	563	22	319								
南北海道	12/12	90	373	63	208	107	901	229	629	5	548	417	489
北 見	12/15					234	771	275	609	10	334	160	239
豊 富	12/19					304	807	220	564	6	480	330	401
根 室	12/22					471	1,178	253	680	2	529	458	493
釧 路	12/23					251	1,027	55	700				
合 計	8回	1,188	563	20	278	2,317	1,340	55	678	149	989	132	525
前年同月成績	8回	1,044	778	11	229	2,481	1,159	150	602	155	714	132	353
前月合計成績	11回	1,238	513	11	242	3,076	1,430	110	584	168	938	74	546

ホクレン乳牛市場開催日程

1月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	2月 5日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
1月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成	2月 6日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成
1月16日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安 平)	2月 9日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)
1月19日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	2月10日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
1月20日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	2月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更) 育成
1月23日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)	2月13日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安 平)
1月26日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	2月13日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成
1月27日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音 更)	2月19日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
			2月20日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
			2月27日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊 富)

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

庭元富貴買のため、
市場買入、戻り、
また、

春迄、乳牛購買事業に大盛ご協力をお願い申し上げます。
乳牛の購入計画がすすみ、最盛期の支那へ一都下ります。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう、陳儀のお手伝いをお願い致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を特で呂常りの支所と札幌支所がお持ち申し上げます。

《各專藥所	電話番	号
劍路事務所	(0154)52-1232	
豐家航生具事務所	(0153)76-1877	
吉原事務所	(0155)37-6051	
東北事務所	(0165)12-2368	

令和8年1月13日

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、年末商戦の影響により港湾作業の遅延や混雑が発生しておりスケジュールに乱れが生じています。2月には中国の旧正月も控えており、旧正月が始まるまでには中国発着の貨物が増加し、旧正月中には中国に発着する貨物の流通量が一時的に低下しスケジュール調整のため本船を間引き運航する可能性もあり、動向を注視する必要があります。

1 1月下旬にはロサンゼルス港停泊中の本船（ONE HENRY HUDSON）にて火災が発生し、共同海損（損害した船体や貨物の費用を荷主で公平に按分し負担する制度）が宣言されました。1 2月中旬には排水作業が完了し、荷卸作業も開始されていますが、積載された全ての貨物は米国沿岸警備隊（USCG）の調査のためロサンゼルス港に保管されており、本船の再出港や今後のスケジュールは依然として不透明となっています。



1 1 月下旬 鎮火活動の様子

Dolphin Maritime & Aviation Services Ltd.より

ビートパルプ

米国では25年―26年産の収穫作業とビートパルプの生産が概ね終了しており、

ペレットの出荷が開始されています。欧州やメキシコなどの輸出向けの需要は引き続き堅調に推移しています。

アルファルファ

25年産の収穫は終了しました。ワシントン州やオレゴン州の1番刈では春先の生育に適した冷涼な気候や好天に恵まれたものの、収穫期に降雨があり、一部の圃場で雨あたりの被害が発生しました。降雨を避けて収穫した圃場では中級品中心、降雨被害前に収穫を終えた圃場では上級品が中心に収穫されました。以降の番手でも降雨被害や山火事による煙の影響もありましたが、全体を通して良品も多く収穫されました。

産地相場については、中東や中国、韓国から引き合いが増えてきており堅調に推移しています。

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは輸出向けの生産は終了しています。DIP（休耕地政策）に参加した一部の圃場では一定期間水入れを行わなかった影響により根が枯れて再播種が必要になっています。26年産でも継続してDIPが実施される見込みのため、作付面積は例年並～やや増加すると予想されています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは25年産の収穫作業が終了しました。25年産1番刈は上級品中心の発生となり、中～低級品の発生は限定的となりました。2番刈についても上級品の発生が中心となりましたが、収穫が進むにつれ雨当たりも増え、中～低級品も発生しました。カナダ産チモシーの上級品が限定的となったことから荷動きは順調に推移しており産地在庫の売約も進んでいるため、一部の輸出業者では値上げを行っています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しました。収穫された1番刈は好天に恵まれたため、上～中級品の発生が中心となり、2番刈は夏のモンスーン（季節風）による降雨もあり、輸出向けには適さない低級品が中心となり、米国内向けに出荷されました。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では25年産のクレイングラスの収穫は終了しました。韓国では悪天候により、稲ワラの収量が例年よりも大きく減少していることからストロー類を筆頭にクレイングラスに対しても強い需要が出ています。また、日本からの需要も堅調に推移していることから、26年産の出荷前に産地在庫が逼迫する可能性もあるため今後の動向に

は注視が必要です。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは25年産の収穫作業が終了しました。バミューダヘイの日本向けの需要は停滞していますが、台湾向けに堅調に推移しています。バミューダストローについては米国内や輸出向け問わず堅調に推移しています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、25年産の収穫は終了しています。25年産は7月下旬より収穫が開始され、8月下旬より出荷が開始されました。米国产チモシーの低級品が限定的となったことや韓国国内の自給飼料不足により需要は堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区ともに25年産の収穫作業は終了しており、南部レスブリッジ地区の1番刈の品質は断続的な降雨の影響を受け、上級品の発生は限定的、中部クレモナ地区の1番刈の品質は中～低級品の発生が中心となりました。2番刈についても不安定な天候の影響もあり圃場での乾燥に時間を要していたことで、輸出に向かない品質が多く収穫されました。

豪州産オーツヘイ・ウィートストロー

25年産オーツヘイの収穫作業は終了しています。西豪州では収穫作業中に降雨の影響を受けた圃場もあり低級品の発生もありますが、生育期間中の好天や適度な降雨に恵まれたことにより、上級品～中級品が中心に収穫されています。南豪州では、適度な降雨もあり順調に生育が進みましたが、収穫終盤に降雨があり、中級品が中心に収穫されています。東豪州では、断続的な降雨の影響で、上級品は限定的となっています。現在も刈取後にベーリングされず放置されている圃場もあり、これらは輸出向けに適さない低級品となる見通しです。引き続き、豪州国内の酪農家からの需要も堅調に推移しているため、需給および産地相場の動向には注視が必要です。

ウィートストローは例年より3週間遅れて収穫作業が開始されましたが、現在、天候も安定しており、良品が多く発生しています。

豪州航路の状況は、世界的なコンテナ需要の増加に伴い、本船スケジュールの遅延が継続しています。直近では、サンクスギビングや年末商戦、旧正月の影響により、中継港において約2週間の遅延が発生しています。さらに、西豪州では小麦をはじめ

とする穀類が豊作となっており、大型船の手配が優先される一方で、コンテナ貨物の船腹予約は逼迫した状況が続いています。

以上

＜＜スペースお借りします。＞＞

◆ 主な行事予定 ◆

1月

19日 須磨年金事務所令和7年度年金委員研修

22日 第7回理事会（WEB）

26日 JA決算税務担当部課長会議（農業会館）

28日 全国酪農協会・事業推進委員会（WEB）

2月

3日 近畿生乳販連理事会・販売委員会（WEB）

4日 兵庫県民農林漁業祭実務者連絡会議（県庁西館）

6日 令和7年度西日本地区社員会議（博多）

11日 令和7年度家畜診療技術者研究発表会（共済会館）

12日 全国酪農協会・役員報酬等審議委員会（WEB）

13日 損害評価委・家畜共済部会（共済会館）

16日 令和7年度兵庫県有和牛精液利用検討委員会（私学会館）

20日 雪印メグミルク神戸工場閉所式（グリーンヒルホテル明石）